

平成19年度 一番茶萌芽生育状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本年	前年	前5ヶ年
4月10日	4月18日	4月12日

2. 生育状況

項目	年次	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日
新芽長 (cm)	本年	1.0 ± 0.4	1.7 ± 0.7	3.1 ± 1.2	5.1 ± 1.8
	前年		0.7 ± 0.2	2.0 ± 0.6	4.5 ± 1.3
	前5ヶ年	1.4 ± 0.5	2.4 ± 0.7	3.3 ± 1.0	4.6 ± 1.3
新葉数 (枚)	本年	0.6 ± 0.6	1.2 ± 0.8	1.9 ± 0.7	2.8 ± 0.7
	前年		0.2 ± 0.4	1.1 ± 0.6	2.4 ± 0.6
	前5ヶ年	1.0 ± 0.6	1.5 ± 0.6	2.1 ± 0.6	2.9 ± 0.6

3. 気象表

月・旬	項目・年次	平均気温 ()			最高気温 ()			最低気温 ()		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月	上旬	3.3	0.5	2.9	8.3	4.9	7.8	-0.7	-2.9	-1.2
	中旬	3.3	3.0	2.9	9.1	7.7	7.7	-1.3	-0.9	-1.2
	下旬	3.9	1.6	2.0	10.4	5.9	6.9	-1.8	-1.7	-2.0
2月	上旬	4.1	1.1	1.7	9.8	5.8	7.1	-1.8	-2.8	-2.8
	中旬	4.8	3.5	2.9	10.5	8.6	8.4	-0.5	-0.6	-1.5
	下旬	5.7	5.0	3.8	11.9	10.3	9.4	0.2	0.1	-0.9
3月	上旬	6.2	5.0	4.5	13.8	11.2	10.2	0.2	0.0	-0.4
	中旬	3.2	4.6	5.9	8.5	9.7	11.7	-1.3	-0.3	0.6
	下旬	8.7	5.8	7.6	15.7	12.6	13.4	1.8	0.6	2.1
4月	上旬	8.6	8.6	9.8	15.1	14.1	16.0	2.7	3.1	4.1
	中旬	10.5	11.1	11.9	17.1	15.9	18.5	4.4	7.2	5.9
	下旬	13.1	11.0	13.8	20.4	16.3	20.0	6.0	5.9	8.2
5月	上旬	16.0	16.4	15.9	22.6	22.3	21.8	9.8	11.4	10.6
	中旬	15.0	14.7	16.1	21.8	18.9	21.7	8.5	10.2	11.0

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
1月	上旬	18.0	9.5	20.4	6	6	3.9
	中旬	12.0	37.5	22.9	3	3	4.1
	下旬	1.5	16.5	22.6	2	7	4.7
2月	上旬	25.0	43.5	18.3	5	8	4.6
	中旬	42.5	32.0	22.5	4	4	3.8
	下旬	23.0	36.5	22.3	3	4	4.0
3月	上旬	5.5	38.0	28.3	2	5	4.6
	中旬	9.0	34.5	31.5	1	5	4.1
	下旬	32.5	29.5	41.3	8	6	5.3
4月	上旬	14.0	45.5	35.2	4	4	3.7
	中旬	16.0	50.5	29.8	6	5	3.9
	下旬	10.0	8.5	27.0	5	2	3.5
5月	上旬	53.5	49.5	46.9	5	2	3.9
	中旬	23.5	70.0	64.3	5	8	4.9

終霜日 本年 4月10日(最低気温0.4) 前年 4月26日

最低極温 本年 -6.0 (2月5日) 前年 -6.1 (1月8日、2月4日)

4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹 高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (52年生)	180cm × 30cm	90cm	160cm	防霜ファン レール設置ほ場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:49.6 P₂O₅:11.3 K₂O:12.5

5. 概況

1) 気象

平均気温は、1月下旬から3月上旬にかけ、平年比+1.7 ~ +2.4 とやや~かなり高く推移したが、3月中旬には平年比-2.7 とかなり低くなった。3月下旬は+1.1 とやや高かったが、4月上旬以降、+0.1 ~ -1.4 と平年並み~やや低く推移した。

降水量は、1月中下旬にやや~かなり少なく、2月上中旬にやや~かなり多かった。2月下旬以降は、平年並み~かなり少なく推移し、特に、3月上旬から4月下旬にかけては、期間降水量が、平年比45%とかなり少なかった。

2) 生育

萌芽期は、昨年より8日、前5カ年平均より2日早い4月10日であった。本年は、昨年秋整枝以降の高温により再萌芽した芽が多く見られた。

萌芽期以降、4月下旬までの生育は、新芽長・新葉数とも前5ヶ年平均より緩慢であった。これは、4月の平均気温・最低気温が平年より低く、降水量も少なかったためと考えられる。5月以降の生育は、前5ヶ年平均と同等であった。

平成19年度 一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本年	前年	前5ヶ年
5月14日	5月22日	5月11日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本年		前年		前5ヶ年	
収量	指数	収量	指数	収量	指数
381 ± 19	69	660 ± 53	120	549 ± 33	100

3. 百芽重 (g)

本年		前年		前5ヶ年	
重量	指数	重量	指数	重量	指数
39.6 ± 1.6	85	69.0 ± 5.2	147	46.8 ± 2.8	100

4. 新芽数 (本/m²)

本年		前年		前5ヶ年	
芽数	指数	芽数	指数	芽数	指数
932 ± 41	71	934 ± 53	71	1322 ± 86	100

5. 出開き度 (%)

本年	前年	前5ヶ年
58	58	71

6 . 概況

1) 摘採期

萌芽期は、前5ヶ年平均より2日早かったものの、4月が低温で推移したため、生育が遅れ、本年の摘採日は前5ヶ年平均より3日遅い5月14日であった。萌芽期から摘採日までの日数は、前5ヶ年平均より5日長い34日であった。

2) 生葉収量

生葉収量は、百芽重が軽く(前5ヶ年比85%)、前年同様新芽数が少なかった(前5ヶ年比71%)ため、381kg/10a(前5ヶ年比69%)であった。

3) 病害虫の発生状況

5月に入り、ミカントゲコナジラミが発生したものの、チャに対する実害はなかった。

4) 県下の状況

本年は、4月以降の最低気温が低かったため、新芽の生育が緩慢であり、芽数不足がみられた。そのため、多くの園で減収した。摘採始めは平坦地で5月7日以降、山間地で5月13日以降と平年に比べてやや遅かった。また、平坦地と山間地、並びに品種間の早晚差が小さかった。

カンザワハダニが局所的に発生した園がみられた。また、山間地を中心にミカントゲコナジラミの発生がみられたが、チャに対する実害はなかった。